



【自主 敬愛 勇健】 ～生徒が自信をもって生き生きと活動する学校～

<「家庭の日」について> ～令和7年度から月に2回の「家庭の日」を設けます～

気温の低い日が続く、朝の冷え込みには体が縮こまってしまうほどですが、私は、生徒からの朝の爽やかな挨拶や笑顔、軽やかな足取りに、寒さにも負けない力をもらいながら日々を過ごしています。私は寒さに弱い体質なのですが、寒さに強い体になろうと厚着をせずにいますが、心の中ではいつも暖かい時期が少しでも早くやってくることを願っています。

さて、今年度から、生徒の家庭で過ごす時間を増やし、その時間を有効に使ってもらうために、「家庭の日」を月1回（水曜日）設けました。私は、全校生徒の早く帰宅できる「家庭の日」の過ごし方について知りたかったので、簡単なアンケートをつくり、調査をしました。複数回答可のアンケート調査でしたが、回答の中でも、特に多かったものは下記のとおりです。

- | | |
|--------------------------------|-----------------|
| 【1】学習をする | 【2】体を休める（睡眠を含む） |
| 【3】テレビ、ゲーム、インターネット、SNSなどに時間を使う | |
| 【4】運動をする（習い事を含む） | 【5】友達と遊ぶ |
| 【6】家事の手伝いをする | |



私の予想では、最も多い時間の使い方は「テレビ、ゲーム、インターネット、SNS など」だったのですが、見事に外れてしまいました。最も多かった回答は、上記のように「学習に時間を使っている」で、「体を休める（睡眠を含む）」が2番目でした。この回答に、驚くと同時に嬉しさも込みあがってきました。校長講話の中で、私は「お家の方への奉仕することにも時間を使ってほしい」という願いも生徒に伝えてあったので、「家事の手伝いをする」という回答が多かったことにも嬉しく思っています。家庭の日の過ごし方の他に、「家庭の日を増やしてほしいですか」という質問もしたところ、85%以上の生徒が「増やしてほしい」と回答しました。これらの回答から、ほとんどの生徒が自分の時間を有効に使いながら「家庭の日」を過ごすことができていると、学校では判断しています。

「家庭の日」は、私たち職員にとっても放課後の時間を有効に使うことができるということから、来年度は、月2回を設定する予定です。年間のどの水曜日にするかについては、まだ決定していませんので、年度当初に配布する年間行事予定表でご確認いただきたいと思います。

尚、「家庭の日」の日程は、すでに決まっています、下記のようになります。

13:15 給食終了	13:40～13:55 帰りの会	14:10 完全下校	※4時間目までは通常授業
------------	------------------	------------	--------------

「家庭の日」は、生徒にとっても職員にとっても家庭生活を大事にする日にしたいと考えています。保護者の皆様にはご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

<二十歳を祝う式> ～卒業生の晴れ姿と立派に成長した姿を見とどけてきました～

1月12日(日)に、丸子地域二十歳を祝う会が丸子文化会館(セレスホール)で開催されました。私も招待されましたので、参加し、二十歳になった皆さんを祝福してきました。一昔前までは、どの成人式会場でも、大きなお祭りを楽しんでいるような様子が見られたのですが、今はそのような時代ではなく、マスコミに取り上げられるような賑やかさは全くありませんでした。丸子会場は、上田市長さんが祝辞を述べられていましたが、市長さんをはじめ、多くの方のお話に私語なく静聴する参加者の姿にとっても感心しました。また、当然のことのように拍手を送る姿も立派でした。出席者のTPOをわきまえた姿勢は、当時の先生方のご指導によって育まれたものであること感じました。厳かな雰囲気の中で、整然と行われた二十歳を祝う式でした。

